

言葉・ふしぎ発見！（一年）

新しい指導を考える会

身近な文章をきっかけに

『言葉を探検する』（二年第七单元）の授業を構想する際、新聞・雑誌・広告・小説など、自分の身近な文章の中の語彙をきっかけにして、言葉を調べ、広げる学習ができないかと考えた。「言葉を調べることっておもしろい。」「もっと言葉を知り、語彙を豊かにしたい。」という体験をして、言葉の学習へのさらなる意欲を喚起することがねらいである。

発表例を示すことで、学習の見通しをもたせる

導入として指導者による発表例を見せた（資料1）。発表例を示すことで、学習のイメージや見通しをもたせることとした。発表例には、新聞のスポーツ面の見出しを活用した。勝ち試合の呼び方も、勝ち方によって変わる。そこで、「辛勝」の言葉を使っている記事を紹介し、今回の学習の導入とした。調べた内容をフリップにまとめ、それを示しながら、クイズ形式の発表で交流することを伝えた。「いろいろな勝ち方」を表す言葉をテーマに発表するため、『類語大辞典』（柴田武・山田進編／講談社二〇〇二年刊）を資料とした。

学習を始めるにあたって

① 参考文献の準備

言葉に関しての文献・資料は、一人一冊（もしくは一部）手にすることができるよう準備したい。地域の図書館に依頼して本を用意するとよい。

② 身近な文章の用意

文章が用意できない生徒には、新聞記事や雑誌などからヒントを与える。たとえば、「カリスマコーチ」という言葉から、カタカナ語について調べるなど、テーマを設定できる。

学習の流れ（四時間扱い）

第一時 指導者が発表例を示し、発表のイメージをもたせながら、学習の流れを説明する。

第二時 気になる語彙のある文章から、各自の調べるテーマを考える。

第三時 テーマにそって参考文献や参考資料を探し、フリップを作る。

※教科書の言葉探検のテーマ例（一年P179）を参考にするとよい。

・自然を表す言葉……天気欄などから
・略語……新聞、雑誌などから
・広告の言葉

第四時 フリップを見せながら、「言葉・ふしぎ発見！」大会を開く。

※授業後、フリップは教室に掲示する。

【資料1】

日本サッカー「辛勝」
（勝ち方いろいろ）
言葉もいろいろ

圧勝	相手を圧倒して勝つこと
楽勝	楽に勝つこと
完勝	不安なく完璧に勝つこと
快勝	気持ちよく見事に勝つこと
勝	常に勝つこと
勝	かろうじて勝つこと
勝	思いがけない勝利

☆大相撲などにかろうじて連良く勝つことを、「何を拾う」と言うでしょう。

参考文献（『類語大辞典』講談社）

＜発表の流れと留意点＞

▲「辛勝」という言葉が使われている記事を紹介する。

▲次に「勝ち方」によってどのような言葉の違いがあるのかを説明とクイズで発表する。
↓説明とクイズでメリハリをつける。

▲最後に、みんなが知らなかったと驚くようなクイズを入れる。
▲参考文献を必ず明記する。

おわりに

本実践では、調べる活動も発表会も、生徒たちは非常に興味深く取り組んでいた。言葉を知り、言語生活を豊かにする国語教室を今後も展開していきたい。

生徒が作ったフリップ例

